

和地ひとみレポート No.168

第11回 平和市民のつどい 戦争の悲惨さを身近に感じた式典

■東大和市 平和市民のつどい

…8月15日終戦の日、都立東大和南公園の平和広場にて「第11回平和市民のつどい」が執り行われました。今年には先の大戦の終戦から70年の節目の年。テレビや新聞など様々なメディアでも戦争の悲惨さ、平和の尊さを考えさせる特集が組まれています。…東大和市の「平和市民のつどい」は都立東大和南公園内にある戦災建造物『旧日立航空機(株)変電所』の特別公開、また、その前の平和広場のステージでの平和祈念式典が例年の主な内容ですが、今年は戦後70年の節目の年ということもあり、その内容も充実したものとなりました。平和祈念式典に参加された方は例年より多く、この式典が執り行われていることを知らずに公園内を通られた方が足を止めて式典を見守られる姿も多く目にしました。

■身近にある戦争の記憶

…「平和市民のつどい」は17時35分から開会。今年は2部構成となっていました。第1部は国立音楽大学の学生の方による平和コンサート、都立東大和南高等学校演劇部による戦争体験の朗読劇、平和祈念式典、東大和市と東村山市の合同事業「地域の戦争・平和学習及び広島派遣事業」に参加した両市の中学生による報告発表の後、『旧日立航空機(株)変電所』がライトアップされました。また、今年には市内の子どもたちが作成したキャンドルシェードへの点灯も初の取り組みとして行われました。

…このキャンドルシェードは、和紙に子どもたちの平和への願いが書かれたもの。市内の学童保育、児童館の子どもたちが事前に作成した物の他に、当日会場で子どもたちが作成した物を合わせて約500個のキャンドルシェード(灯籠)が変電所の前に並べられ、会場は例年になく厳かな情景となりました。例年の平和祈念式典は、参加者がステージ上で行われることを見るという受身的な内容でしたが、今年は子どもたちがキャンドルシェードを作成することで参加。また、キャンドル(LED)の点灯を会場にいた全員で行うなど多くの方が式典に関わる内容になっていました。

…そして会場中が胸を震わせた高校生による朗読劇。今年には演劇部の生徒の皆さんが、東大和市で実際に戦争を体験された女性に聞いた話をもとに、自分たちで作成した脚本によるものでした。当時、日立航空機で戦闘機のエンジン部品を作っていた高校生と同年代の女の子の日常の様子。聞きなれた「芋窪」「桜街道」という地名も出てきて、当時の東大和市の風景、市民の生活を実感できる内容でした。劇の最後はB-29による空襲のあった昭和20年4月24日の工場の様子。



【ライトアップされた変電所と子どもたちのキャンドルシェード】

主人公の女の子の友人は死亡。空襲後、工員で戦死者を埋葬した話。朗読劇とは言え、目の前に映像があるように感じられました。この工場は昭和20年2月17日、4月19日、4月24日と相次いで米軍機の空襲をうけ110名の犠牲者を出しています。…また、前述のとおり、今年には東大和市と東村山市で合同事業を行ったこともあり、式典には東村山市長も来賓として招かれました。その挨拶の中では、軍需工場のあった東大和市の空襲の影響で東村山市にも空襲があったこと。B29が1機、秋津の畑に墜落したこと。そして、その畑の地主の方が戦死したアメリカ兵を「死んだら敵も味方もない」と手厚く葬り、跡地に平和観音を建立。今でも毎年遺族の方がアメリカからお参りに来ることなどが語られました。これらのことにより、自分たちの住んでいる身近なところでも現実に戦争があったことを痛感。式典後の第2部で披露された東大和少年少女合唱団の平和コンサートでは、この子どもたちに2度と戦争を体験させてはいけないと多くの方が思ったことと思います。

■平和を未来につなぐ

…また、式典で行われた「地域の戦争・平和学習及び広島派遣事業」に参加した中学生による発表では、実際に広島を訪れたことで感じたことを中学生が自らの言葉で率直に発表し、自分たちが戦争の悲惨さを後世に伝えていくことの重要性、平和を守るために自分たちに何ができるかを自分で考えることの大切さを語ってくれました。

…東大和市でも戦争体験者の高齢化が進んでいます。中学生の発表のとおり戦争の悲惨さを後世に伝えていくことが重要になってきています。今年、東大和市では市内で戦争を体験された方などの戦争体験映像記録を作成。このDVDは市役所企画課で貸出します。また、公民館などの市の施設では平和文集(戦争体験記など)も無料配布されます。身近にあった戦争を知ることによって考えさせられることは多く、戦争の悲惨さ、平和の尊さを未来につなぐための資料として、多くの市民の皆様手にしていただきたいと思いました。

第4回 いじめ防止のためのシンポジウム「東大和市の子どもたちの力を信じて」 東大和市のいじめ防止対策



■いじめ防止のためのシンポジウム

…いじめによる悲惨な事件が多く報道されるようになり久しいですが、全国的にいじめはなくなっていません。文部科学省でもいじめに対する様々な対策を行っており、今年6月には「24時間子どもSOSダイヤル」や関係省庁が開設しているその他の窓口について周知を図るポスターを作成したほどです。このポスターを全国の小・中・高等学校に各2部ずつ配布。いじめによる悲惨な事件が起こらないように、文部科学省も改めて力を入れている状況です。

…東大和市では、平成23年度から社会全体でいじめを許さない環境を作ることを目的に学校、家庭、地域社会、関係機関が連携して取り組むべきことを話し合う場として「いじめ防止シンポジウム」を開催しています。

…今年も8月最後の土曜日8月29日14時から中央公民館ホールにて、下記の内容で「いじめ防止のためのシンポジウム」が開催されます。

【第4回いじめ防止のためのシンポジウム】

■テーマ

「東大和市の子どもたちの力を信じて～いじめ問題を解決する力と人間関係力を築く力を高める取組み～」

(第1部) いじめ問題の解決に向けた中学生の挑戦

- ・中学生による自校の取組みについての発表
- ・市民との意見交換

(第2部) 講演「子どもたち自身の取組みで学校は変わる」

講師：東京女子体育大学教授 美谷島 正義氏

…東大和市はスクールカウンセラーの配置、教育センターの活用、学校への訪問指導・巡回相談など教育相談機能の充実を図り、不登校児童、生徒数は減少傾向にあり、その取組みは他自治体からも注目されているところです。不登校になってしまった子どもについては、その人数も把握でき、対応もできる場所ですが、いじめについては、不登校になっていない場合もあるため発見されづらいとされています。また、最近はメール、SNSなどによる誹謗中傷、写真等の個人情報の無断掲載などいじめの多様化、深刻化が問題となっています。このような環境の中で、いじめを早期に発見する、いじめを防止することは、学校や家庭だけではなく、地域も連携して行うことが有効とされています。

■教育委員会の施策

…各学校に教育目標があるように、東大和市教育委員会にも教育目標があります。教育委員会では、毎年度、教育目標を実現するための方針を決め、その方針に基づき様々な施策を実行しています。今年度の「いじめ問題への対応」の施策は、

① 関係機関と連携し毅然とした態度で万全の対応を期す。

② 学校におけるいじめの未然防止、早期発見のために、年間3回のアンケートを実施し組織での対応を推進するとともに、学校いじめ防止対策基本方針に基づいた取組を支援する。

③ 各学校におけるいじめ防止等の取組について意見交換を行う委員会の設置を検討する。

④ 市民・保護者に対しては、引き続き「いじめ防止のためのシンポジウム」や市民・保護者参加型の「連合生徒会会議」を開催し、いじめ根絶に向けた学校・家庭・地域での行動連携を充実させる。

とし「いじめは人として絶対に許されない行為である」という認識で取り組んでいます。

■学校と地域を結ぶ

…教育委員会の教育目標の中では「教育は、家庭、学校及び地域のそれぞれが責任を果たし、連携して行われなければならないものであるとの認識に立って、全ての市民が教育に参加することを目指していく」とされています。学校は閉鎖的であると言われていたのですが、東大和市では徐々に学校と地域が連携する機会が増えオープンな雰囲気に変化しています。各学校の校長先生のお便りも、自治会の回覧板で回されており、地域の方が学校の様子を知る機会も増えてきました。

…しかし、子どもの生命、将来に関わる「いじめ問題」を話し合う場の「いじめ防止シンポジウム」への地域の方の参加率はまだまだ十分とはいえません。より多くの方に参加していただけるような情報発信、話し合われたことのフィードバックを行うなどは検討の余地があると思います。今回のシンポジウムでも市民との意見交換の時間が取られています。地域の方に子どもへの関心を高めてもらう取組みは、学校教育だけではなく「子供を東大和で育てたい」ことにもつながると思います。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」 【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102